

1. カリキュラムポリシー

上智大学短期大学部に入学した者が、本学の学業を修めることにより、建学の精神やディプロマポリシーで定める人材となることができるよう構築された一連のプログラムをカリキュラムポリシーとして明示します。

本学で提供するカリキュラムは、学修の4つの観点「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」と到達目標に定義する諸要素を備えています。カリキュラム構成に示すとおり、多様な科目群により複数要素を補完しあう教育プログラムを構築することで、本学が定める要素を十分に修得することができます。

1. カリキュラムエッセンス

英語科では、「キリスト教ヒューマニズム」「英語発信力」「国際性」の《3つの視点》と、「教養力」「言語力」「専門力」の《3つの能力》の2つのカリキュラムエッセンスを尺度に精査された授業やプログラムを提供します。

また、個別の授業を、段階を追って重層のかつ領域横断的なプログラムとして統合・構成することで、国際社会に貢献しうる多様な人材を育成します。

《3つの視点》

(1) キリスト教ヒューマニズム

「人間教育」を掲げる本学は、キリスト教ヒューマニズムという視座から、言語、思想、文学、歴史、社会を考察し、その過程において「人間」への理解を涵養することにより、社会貢献の志を抱く人材を育成します。

(2) 英語発信力

「内容重視 (content based)」「自己発信 (self-expressive)」型の英語教育を通して英語の技能を向上させるとともに、言語の価値と運用の本質的意味を理解し、それを基礎に多様な分野の専門教育と人間形成をします。

(3) 国際性

言語教育を核として、歴史、文化、社会経済、国際情勢、地域福祉等、幅広い分野の専門教育を実施しています。さらに、地域活動の中での国際協力（サービスラーニング活動）や、短期留学プログラム、そして本学の持つ国際色豊かな教育資源を活用することにより、地域レベルまで国際化が進む社会を実感することができます。

《3つの能力》

(1) 教養力

善悪、美、愛、喜怒哀楽、勇気、胆力、宗教等、人や社会によって異なる信念や価値観を豊かに持つことです。さらに、自己と異なる考えを理解し、共感し、寄り添うことで他者や異文化間のギャップを埋めることができる感性を総じて教養力といいます。

(2) 言語力

異なる性質である「教養力」と「専門力」を媒介し、ヒューマニズムの核となるものが「言語」です。本学では、国際社会の共通言語として広く使われる英語を通して母語にも共通する「言語力」を修得するとともに、幅広い分野の専門知識と深い教養の涵養を目指します。

教養力と専門力そして言語力の3つの力を磨くことにより、上智の建学の精神を具現化できる人材を養成します。

(3) 専門力

すべての学問領域の知識を体系的に理解し、それを論理的に説明する能力です。語学、文学、哲学、修辞学、法律、経済、歴史、自然科学等、論理立てて継承していくことが可能な知識は、全て専門力といえます。

2. カリキュラムの科目群

本学の授業は、「英語科目」「教養科目」「基礎科目」「専門科目」の4つの科目群に分類されています。それぞれの科目分類の定義は以下のとおりです。

・英語科目

英語の各科目では、4技能（読む、書く、聞く、話す）を効果的に習得することができます。また、「英語スキルズ」や「TOEIC対策講座」では、状況や立場等の目的に応じた英語表現を、ペアワークやグループワーク等の実践演習により身につけることができます。

さらに、必修科目である「英語Ⅰ～Ⅳ」の講座では、地球市民として必要な素養を「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神に基づき、段階的に英語で学ぶことで国際社会への興味と理解を深めることができます。

・教養科目

教養科目は、心や感性を培い、多様な視点から物事の本質を理解し、広く社会と人間の本質を理解することを通して社会貢献の志を育むことを主たる目的とした科目群で構成されています。必修科目である本学特有の「人間学」科目では、キリスト教ヒューマンイズムの視座をもって様々なテーマを考察し論じることで、高次の人間理解をめざします。この素養を礎として多様な学問や社会事象を考察することにより、それらの背景に隠れた新たな価値を発見し、これを通して自己認識・自己規定の新たな意味づけにつなげることができるはずです。

また、人間学以外の本科目群においても人間理解に着目し、とくに人間の行動を広義に理解することや考察の切り口となりうる科目分類と授業内容の精査を行っています。

・基礎科目

本学が定めるコース（※コース制度参照）の4領域のテーマを学ぶにあたり、前提となる知識や分野についての導入科目となりうる科目群を基礎科目として配置しています。

また、言語系の科目配置では、意思疎通の手段の幅を広げるだけでなく、複数言語に触れることで社会の多様性や共通性への感受・認識へと展開していくことを目的としています。

・専門科目

本学が定めるコース（※コース制度参照）の4領域のテーマに沿って得られた多様な知識を複合的に展開していくために必要な知識・分野を専門科目として配置しています。

また、Semesterごとに段階を踏む「ゼミナール」科目（※ゼミナール制度参照）では、アカデミックスキルの向上とともに、実社会でも通用しうる実践的な社会人基礎力を総合的に学び向上させることができます。

3. カリキュラム構成（標準配当）

標準配当表および開講科目表を参照してください。

4. コース制度

本学では、4つの学習コースを設けており、個々の学生が領域のテーマを探求するにあたって順序立てて学ぶ指標を示しています。コースを学習することで、それを軸とした考察視点を養うことができます。

（1）異文化理解コース

さまざまな国の文化や社会、考え方などについて学ぶコースです。

歴史学、教育学、法学といったさまざまな学問分野の視点から、日本や諸外国の制度や考え方を見ることによって、文化を複眼的に理解することができます。

（2）英米文学研究コース

英語圏の文学を通して様々な表現手法や思想等について学ぶコースです。

詩、劇、小説といったジャンル別に、愛、モラル、宗教などのテーマがどのように表現されているかを学ぶことによって、英語圏の文芸文化への理解を深めます。

（3）言語研究コース

ことばのしくみや使い方、バリエーション等について学ぶコースです。

英語と日本語の音、語、文、意味といった異なるレベルでの構造、会話の仕組み、ことばのバリエーション、ことばの習得、言語教育等について学ぶことによって、生きた言語への理解を深めることができます。

（4）言語教育コース

理論と実践の双方向から、効果的に言語教育を行う力を養います。

こどもたちへの英語の教え方と、日本語を母語としない人たちへの日本語の教え方を理論と実践の両面から学ぶコースです。言語の習得、こどもの心理や発達、言語教育等に関する理論を学び、その知識を基に模擬授業を行うことによって、効果的な言語教育を行う力をつけることができます。

5. ゼミナール制度

本学では、4学期つまり4セメスター（2年間）で段階を踏んだゼミナール講座を設けています。

- (1) 第1セメスターに開講する「基礎ゼミナール」では、大学で学ぶにあたっての導入教育とともにキャリアパス設計に必要な演習等を行います。
- (2) 第2セメスターでは、「プレ・ゼミナール」を開講し、自身の研究テーマを設定し、それに基づく討議・演習を通して、研究手法や自己表現方法、論理構築手順等を学ぶことができます。
- (3) 第3セメスターと第4セメスターに開講される「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」では、自身のテーマをより深く研究していく過程で、情報収集や分析の手法、問題提起、論理構築、領域横断的視点、自己発信力等の素養を統合的に得ることができます。

6. インデペンデント・スタディ

指導教員の下、学生が独自に設定したテーマについて、主体的に調査・考察した成果を研究報告書としてまとめ、発表を行う自主的総合学習です。本プログラムは任意履修となりますが、ゼミナールやコース制度等で学んだテーマをさらに拡大・展開させたり、新たな智の領域に挑戦したいという学生の積極的な学習・研究意欲に発展的に応えるものです。

7. キャリア形成支援プログラム

本プログラムは、学生の多様な進路希望を後押しすることを目的とし、キャリアパスや就職、編入学に関するガイダンス、専門カウンセラーによる個別指導等の正課および支援プログラムが多面的に組み込まれています。これらのプログラムに主体的に参加することにより、社会基礎力としての内面的な成長とともに、編入学や就職等における実践的な知識を得ることができます。

8. 上智大学科目等履修制度の導入による単位認定制度

8学部28学科を擁する上智大学（4年制）で全学に開講されている科目を、本学の学生が履修することができる制度です。この制度では、セメスターごとに6単位、最大12単位を上限に履修することができます。修得した上智大学の単位は本学の単位として認定することができます。

この制度を活用することにより、本学で開講されていない領域や、多様な専門的学問領域をより深く探求することができます。また、この制度は、学習機会の拡充だけでなく、上智大学の学生・教職員とのふれあいの機会を相互に広げていくことも目的としています。

9. 短期留学プログラム

本学では、「海外短期語学講座」として短期留学プログラムを提供しています。本プログラムの参加者は、事前に「留学準備」科目を修め、派遣先の学校で所定の条件を満たすことにより4単位（「留学準備」2単位、「短期留学プログラム」2単位）を取得することができます。

「留学準備」科目では、本プログラムに参加する目的や、その経験をどのように活かしていくかを明確にしていくことで、学習効果を向上させることができます。また、各種ガイダンスやロールプレイ等により、留学先の文化や海外生活で必要となる知識、危機管理方法等を学ぶことができます。

さらに、参加者は、出発前と帰着後にTOEIC-IP（有料）を受験することで、留学による語学力向上の成果を客観指標で計ることができます。

2. 英語科 カリキュラムの特徴

本学のカリキュラムの科目群は、英語科目、教養科目、基礎科目、専門科目で構成されています。

「英語科に入ったのだから、英語の勉強だけをするものだと思っていた」等の声を新入生から聞くことがあります。それでは、「英語を学ぶ」とはどういうことなのでしょう。

言葉というものは、相手に何かを伝える、あるいは相手の言いたいことを理解するために使われます。

「英語を学ぶ」と言っても、学んだ英語で相手に「何を伝えるのか」「何を理解しようとするのか」という中身がなくては、本当の意味での「英語を使える」人間にはなれません。しかも、母語とは異なる言語を使う相手に、何かを伝えて理解してもらうこと、逆に相手のいうことを理解することは、とても大変なことなのです。単に文法や語彙が違うから、という問題ではありません。「異文化コミュニケーション」という言葉が示すように、異なる言語の使い手、つまり異なる文化の人々とコミュニケーションを行うためには、相手の文化や社会についても知る必要があります。

入学後、まず教養科目を履修することで視野を広げ、体系だった学問に触れながら論理的なもののとらえ方を身につけていきます。皆さんの多くにとっての母語は日本語でしょう。まず日本語でものを論理的に考え、説明する力を養うことが、英語を使いこなすためにも不可欠なのです。そのため、日本語で必要な情報を集め、論理的に整理して口頭で発表したり小論文を書いたりするためのアカデミック・スキルズを身につける「基礎ゼミナール」を1年次春学期に必修科目として受講します。また、同じく1年次に受講する必修科目の「人間学」では、本学の教育理念であるMen and Women for Others, with Others（他者のために、他者ととともに）を実現するための学びがあります。

こうしてしっかりと基礎となる土台を作りながら、英語を学びます。英語の授業の時間が大切なことは言うまでもありませんし、英語だけでなくすべての授業は無遅刻・無欠席が当たり前です。しかし、英語力は授業だけでは決して身に付きません。各授業の予習・復習、課題などをしっかりこなす自宅学習が必須です。さらに学内ではパソコンを使ったe-learningシステムやEnglish Café Luncheon等、授業外で英語を学ぶさまざまな機会が提供されています。また、学生の皆さんはTOEICの目標値を決めてその達成に努めてください。教員もそれを支援していきます。英語力を身に付けるためには、こつこつと積み重ねる毎日の努力と、英語を使い英語により多く触れる自主性が鍵となります。

また、本学では英語力を身につける授業は英語科目に限定されているわけではありません。いくつかの専門科目やゼミナールは英語で行われています。それらの授業では、講義を英語で聞き、英語のテキストや資料を読み、英語で議論して、英語でレポートを書く、というように実際に英語を使って専門的なことを学んでいきます。泳ぎ方をいくら言葉で教わっても、実際に水に入ってみなければ泳げるようにはならないのと同様に、英語についていくら学んでいても、自分が持っている知識を十分に活用しながら実際に英語を使ってみなければ、英語が使いこなせるようにはなりません。英語で授業を行う科目が専門科目として提供されている理由はここにあります。

専門科目は、「異文化理解」「英米文学研究」「言語研究」「言語教育」という領域に括られており、それぞれの分野の入門的な「概論」と「各論」にあたる個々の講義が提供されています。全体像をまず把握してから個別のテーマを扱う「各論」に入るほうが理解を深めることができるので、「概論」は第二外国語などととともに、専門科目のなかの基礎科目として位置付けられています。ある領域に興味がある場合は、その領域の科目を集中して履修して卒業時に「コース修了証」を得ることもできますし、領域にこだわらずに自分の関心にしたがっているいろいろな分野の科目を履修することもできます。

こうした学内での学びを、児童英語教育ボランティアや日本語教育支援ボランティアなどの地域活動に活かし、学外でのこうしたボランティア体験をさらに学びにフィードバックする活動が活発に行われています。こうした奉仕の体験を学びに活かす活動を、サービス・ラーニング活動といいます。サービス・ラーニング活動を通して、学生の皆さんは学んだことを実践し、他者ととともに生きる市民社会の一員として成長する機会を地域社会からいただいているのです。

本学のカリキュラムの内容や目的をよく理解したうえで、バランスよく科目を履修し、ボランティア活動やさまざまな課外活動にも積極的に参加しながら、将来必要となる英語力や社会力を養ってください。

科目履修やプログラム、ボランティア活動などについてわからないこともあるでしょう。それはごく当然のあたりまえのことです。アドバイザーとよく相談して、長期的な視野にたった履修・学生生活の計画を立てましょう。

3. 授業科目の構成

授業科目の内容は以下のように構成されています。

- (1) 英語科目
 - └── 必修科目
 - └── 選択必修科目
- (2) 教養科目
 - └── 必修科目 (人間学)
 - └── 選択科目
- (3) 基礎科目
 - ── 選択科目
- (4) 専門科目
 - └── 必修科目 (プレ・ゼミナール、ゼミナール) (基礎ゼミナールー2010年次生より)
 - └── 選択科目

必修科目 …… 必ず履修しなければならない科目

選択必修科目 …… 指定された科目の中から選択して、所定の単位を必ず履修しなければならない科目

選択科目 …… 自由に選択して履修できる科目

4. 卒業に必要な科目・最低単位数

2年の修業年限を満たし、次の条件を満たすことにより、本学を卒業する資格が与えられます。

【09年次生】

分野	英語科目		教養科目		基礎/専門科目		合計
	必修	選択必修	必修	選択	必修	選択	
単位数	8	6	4	12	6	30	66
合計	14		16		36		

【10～12年次生】

分野	英語科目		教養科目		基礎/専門科目		合計
	必修	選択必修	必修	選択	必修	選択	
単位数	8	6	4	12	8	28	66
合計	14		16		36		

【13年次生】

分野	英語科目		教養科目		基礎/専門科目		合計
	必修	選択必修	必修	選択	必修	選択	
単位数	10	6	2	12	8	28	66
合計	16		14		36		

5. 標準配当表

【09年次生】

区分		1年次・春学期 第1 Semester (準備期)		1年次・秋学期 第2 Semester (発展期)		2年次・春学期 第3 Semester (応用期)		2年次・秋学期 第4 Semester (完成期)	
英語科目	必修 (8単位)	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
	選択必修 (6単位)	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2		
教養科目	必修 (4単位)	人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2				
	選択 (12単位)	選択科目 (12)							
基礎／専門科目	必修 (6単位)			プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
	選択 (30単位)	選択科目 (30)							

【10～12年次生】

区分		1年次・春学期 第1 Semester (準備期)		1年次・秋学期 第2 Semester (発展期)		2年次・春学期 第3 Semester (応用期)		2年次・秋学期 第4 Semester (完成期)	
英語科目	必修 (8単位)	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
	選択必修 (6単位)	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2		
教養科目	必修 (4単位)	人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2				
	選択 (12単位)	選択科目 (12)							
基礎／専門科目	必修 (8単位)	基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
	選択 (28単位)	選択科目 (28)							

【13年次生】

区分		1年次・春学期 第1 Semester (準備期)		1年次・秋学期 第2 Semester (発展期)		2年次・春学期 第3 Semester (応用期)		2年次・秋学期 第4 Semester (完成期)	
英語科目	必修 (10単位)	英語Ⅰ TOEIC対策講座Ⅰ	2 1	英語Ⅱ TOEIC対策講座Ⅱ	2 1	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
	選択必修 (6単位)	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2		
教養科目	必修 (2単位)	人間学Ⅰ	2						
	選択 (12単位)	選択科目 (12)							
基礎／専門科目	必修 (8単位)	基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
	選択 (28単位)	選択科目 (28)							

6. 履修上の注意

(1) 履修登録の上限

履修できる単位数の上限は1学期につき**24単位**です。

(2) 同一科目の重複履修

同一の授業科目は重複して履修することはできません。担当者が異なっても同じ科目名であれば、同一科目とみなされます。ただし、履修した科目が不合格で単位が修得できなかった場合は、もう一度履修することができます。

(例)「基礎英語スキルズ(リーディング)」の授業は春学期と秋学期で違う担当者 → 同じ科目名なので同一科目 → 春学期に単位が修得できた場合、秋学期は履修できない。

- 下記の科目は科目名が異なりますが、同一科目とみなされます。すでに単位を修得済みの場合、重複履修はできませんので注意すること。

【12年次生以前】

2012年度以前開講科目名	2013年度以降開講科目名
東洋研究A	東洋研究
東洋研究B	東洋研究

【10年次生以前】

2010年度以前開講科目名	2011年度以降開講科目名
情報概論	情報リテラシー演習
世界の教育	比較・国際教育学

【09年次生】

2009年度以前開講科目名	2010年度以降開講科目名
映画に見る文化	ビジュアル・レトリック
基礎英語スキルズ(文法)	基礎英語スキルズ(文法・語彙)
基礎英語スキルズ(語彙)	基礎英語スキルズ(文法・語彙)

(3) 受講者数制限科目

人数制限のある科目(P.66~P.72の開講科目表の**備考欄に【人】**とある科目)は履修登録前に仮登録を行い、受講希望者多数の場合抽選を行います(詳細は「履修登録の手引き」を参照のこと)。その他の科目についても原則的には人数制限しませんが、初回の授業の受講希望状況によっては制限を行う場合もあります。第1~2回目の授業、その他掲示等に注意してください。

(4) 必修科目のクラス指定、ゼミ

必修科目は指定されたクラスを履修してください。1年次秋学期必修のプレ・ゼミナールとともに、2年次必修のゼミの選択・登録については1年次中に始まりますので掲示等に注意してください。

(5) TOEIC対策講座I・II(13年次生のみ)

2013年度から「TOEIC対策講座I・II」(各1単位)が1年次必修科目として開講されます。対象は13年次生のみとなります。12年次生以前の学生は履修できません。この科目の履修者は12月に行われるTOEIC-IP試験を必ず受けなければなりません。

(6) 英語スキルズ科目

原則として各学期に1科目までとします。

(7) 人間学

【12年次生以前】

「人間学I・II(各2単位)」は必修です。必修科目の人間学IIを未履修の場合、または不合格であった場合は、秋学期開講の選択科目から人間学IIを履修してください。これを必修科目扱い

とします。

なお、人間学Ⅱを除く教養科目の選択科目として12単位以上を修得してください。

【13年次生】

「人間学Ⅰ」（2単位）は必修科目です。その他に教養科目の選択科目として教養科目群（人間学Ⅱを含む）から12単位を修得してください。

【全学生対象】

Nampet講師担当の「人間学Ⅱ」を履修する場合は、TOEIC 450点以上取得していることが必要です。

(8) 教養科目の「体育理論・実技」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。ただし、同一科目の重複履修はできません。(例) 春学期に「体育理論・実技2」の単位を修得済みの場合、秋学期の「体育理論・実技2」は履修できません(体育理論・実技1か3は履修可能)。

(9) 外国語科目

基礎科目の「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。同一言語を4単位、または異なる言語をそれぞれ2単位ずつ4単位とすることができます。

(10) 他の科目の履修が前提となる科目

- ・ 児童英語教育演習A、児童英語教育演習B……履修するには、児童英語教育概論(2011年度まで開講)、児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位を修得済であることが必要です。
- ・ 日本語教育演習……履修するには、日本語教育概論の単位を修得済であることが必要です。

(11) 履修希望者が極めて少数の場合、開講を中止する場合があります。

7. 基礎科目／専門科目のコース制度

専門科目は「異文化理解」「英米文学研究」「言語研究」「言語教育(09年次生以降)」の4つの領域に分類されています。ある領域を集中してコースとして学ぶことも可能ですし、それぞれの領域から自由に科目を選択して履修することも可能です。

それぞれのコースの基礎科目(異文化理解:キリスト教文化入門または異文化間コミュニケーション、英米文学研究:英文学概論、言語研究:言語学概論、言語教育:児童英語教育概説または日本語教育概論) 4単位+そのコースの関連科目を16単位以上、合計20単位以上修得した場合は、申請に基づき「コース修了証」を発行し、修了コース名を成績証明書に記載します。希望者は、2年次の秋学期の履修登録時に申請を行います(所定用紙)。

(注) 2つのコースどちらにでも算入できる科目を修得した場合、それぞれのコースの修了科目として含めることができます。2コース分の修了証が申請可能な場合は、申請書を2枚提出してください。

<各コースの概要>

異文化理解コース	英米文学研究コース	言語研究コース	言語教育コース
さまざまな国の文化や社会、歴史、考え方などについて学びます。	英語圏の文学を通してさまざまな表現手法や思想について学びます。	ことばの仕組みや使い方、バリエーションなどについて学びます。	子どもたちへの英語の教え方や外国籍の方への日本語の教え方を、理論と実践の両面から学びます。

* 次ページに各年次生の各セメスターでの履修例を示します。あくまでも一例ですので、自己の目的や興味関心に従って個人の学習計画を立ててください。なお、開講学期や時間割は年度によって変わります。

* 履修例はあくまでも一例であり、毎年の実際の開講学期・時間割は反映されていません。

【09年次生】

＜異文化理解コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	文化人類学	4
経済学	4	英語スキルズ	2	東洋研究	4	比較政治制度論	4
マスメディア論	4	社会福祉入門	4	国際関係論	4	社会正義のグローバルリテラシー	4
キリスト教文化入門	4	異文化間コミュニケーション	4	平和と開発	4		
		西洋研究	4				
合計 18 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 10					

2年間 計72単位

＜英米文学研究コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	英語史	4
教育学	2	英語スキルズ	2	体育理論実技3	2	西洋研究	4
体育理論実技2	2	社会学	4	フランス語Ⅱ	2	英詩研究	4
英文学概論	4	フランス語Ⅰ	2	小説研究	4		
		演劇研究	4	映画と文学	4		
		アメリカ文学史	4				
合計 16 単位		合計 22 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 8		教養 6		教養 2		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 12		基礎/専門 12			

2年間 計72単位

＜言語研究コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	第二言語習得	4
社会学	4	英語スキルズ	2	音声学	4	英語史	4
心理学	4	法学	4	異文化間コミュニケーション	4	社会言語学	4
ドイツ語Ⅰ	2	言語学概論	4	日本語学	4		
		言語とリテラシー教育	4				
合計 16 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 2		基礎/専門 10					

2年間 計70単位

＜言語教育コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	児童心理学	4
心理学	4	英語スキルズ	2	児童英語教育演習A	4	第二言語習得	4
歴史学	4	音楽	4	比較・国際教育学	4	児童英語教育演習B	4
日本語表現法	4	児童英語教育概説	4	音声学	4		
		キャリアプランニング	4				
合計 18 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 10					

2年間 計72単位

* 履修例はあくまでも一例であり、毎年の実際の開講学期・時間割は反映されていません。

【10～12年次生】

<異文化理解コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	日本文化	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	国際関係論	4	文化人類学	4
経済学	4	社会福祉入門	4	倫理学	4	比較政治制度論	4
異文化間コミュニケーション	4	マスメディア論	4	平和と開発	4		
		ヨーロッパ現代史	4				
合計 16 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 6		教養 10		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 6		基礎/専門 6					

2年間 計70単位

<英米文学研究コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	アメリカ文学史	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	体育理論実技3	2	英米史	4
教育学	4	フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2	英詩研究	4
体育理論実技2	2	演劇研究	4	翻訳演習	4		
歴史学	4	英文学概論	4	英語史	4		
合計 18 単位		合計 18 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 12		教養 2		教養 2		基礎/専門 14	
基礎/専門 2		基礎/専門 12		基礎/専門 12			

2年間 計70単位

<言語研究コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	第二言語習得	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	音声学	4	バイリンガル教育	4
社会学	4	法学	4	語用論	4	社会言語学	4
心理学	4	言語学概論	4	日本語学	4		
ドイツ語Ⅰ	2	英語史	4				
合計 18 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 10					

2年間 計72単位

<言語教育コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	児童心理学	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	児童英語教育演習A	4	第二言語習得	4
歴史学	4	音楽	4	初等教育	4	児童英語教育演習B	4
日本語表現法	4	児童英語教育概説	4	音声学	4		
		法学	4				
合計 16 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 6		教養 10		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 6		基礎/専門 6					

2年間 計70単位

* 履修例はあくまでも一例であり、毎年の実際の開講学期・時間割は反映されていません。

【13年次生】

<異文化理解コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	言語とリテラシー教育	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	国際関係論	4	文化人類学	4
英語スキルズ	2	教育学	4	日本文化	4	比較政治制度論	4
経済学	4	マスメディア論	4	異文化間コミュニケーション	4		
基礎コンピュータ演習	2	東洋研究	4	中国語Ⅰ	2		
合計 15 単位		合計 19 単位		合計 20 単位		合計 16 単位	
英語 5		英語 5		英語 4		英語 2	
教養 8		教養 8		基礎/専門 16		基礎/専門 14	
基礎/専門 2		基礎/専門 6					

2年間 計70単位

<英米文学研究コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	英語史	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	体育理論実技3	2	小説研究	4
英語スキルズ	2	経営学	4	フランス語Ⅰ	2	アメリカ文学史	4
宗教学	4	英文学概論	4	翻訳演習	4		
歴史学	4	英詩研究	4	映画と文学	4		
合計 17 単位		合計 19 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 5		英語 5		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 4		教養 2		基礎/専門 14	
基礎/専門 2		基礎/専門 10		基礎/専門 12			

2年間 計70単位

<言語研究コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	第二言語習得	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	音声学	4	言語とリテラシー教育	4
英語スキルズ	2	女性と哲学	4	語用論	4	社会言語学	4
社会学	4	言語学概論	4	日本語学	4		
心理学	4	バイリンガル教育	4	ドイツ語Ⅰ	2		
合計 17 単位		合計 19 単位		合計 20 単位		合計 16 単位	
英語 5		英語 5		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 4		基礎/専門 16		基礎/専門 14	
基礎/専門 2		基礎/専門 10					

2年間 計72単位

<言語教育コース(例)>

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	児童心理学	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	児童英語教育演習A	4	第二言語習得	4
英語スキルズ	2	哲学	4	初等教育	4	児童英語教育演習B	4
教育学	4	社会福祉入門	4	音声学	4		
児童英語教育概説	4	バイリンガル教育	4				
合計 17 単位		合計 19 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 5		英語 5		英語 4		英語 2	
教養 6		教養 8		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 6		基礎/専門 6					

2年間 計70単位

8. サービスラーニングとカリキュラムとの関連

学科の中には言語教育コースが設置され、その中に日本語教育と児童英語教育の科目群が置かれています。外国籍市民を対象とした日本語・教科支援ボランティアに参加する学生のために、「日本語学」、「日本語教育概論」、「日本語教育演習」などの科目が開講され、また英語教育ボランティアに参加する学生のためには、「児童英語教育概説」、「児童英語教育演習A」、「児童英語教育演習B」、「第二言語習得」、「児童英語指導者養成講座」などの科目が開講されています。これらの科目を履修することで、理論と実践の上で学問的な裏付けを持って、地域社会における教育支援活動に臨むことができます。本学の時間割にはこれら活動を支援するため、サービスラーニング枠が設けられており、その時間を活用して学生は地域社会でのサービスラーニング活動を行うことが奨励されています。

「小学校英語指導者資格」の取得を目指す学生は「児童英語指導者養成講座」の授業の履修に加え、通信講座とワークショップを受講することで、小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）による「小学校英語準認定指導者資格」の取得が可能です。さらに、「児童英語教育演習A」、「児童英語教育演習B」などの授業とサービスラーニング枠を活用し、実際の指導経験を積むことで「小学校英語指導者資格」の取得申請へも繋がります。

「小学校英語準認定指導者資格」「小学校英語指導者資格」を取得するには

1. 「児童英語指導者養成講座」を履修、単位を修得する。
併せて通信講座「アルク児童英語教師養成コース」を受講。（受講料：63,000円（税込）上智大学短期大学部特別価格 2013年4月時点） 期限内に課題を提出・成績基準を満たして修了する。
2. J-SHINEまたはアルク主催の「小学校英語指導者資格取得研修講座」に参加する。
（2日間集中、受講料：36,000円（税込）2013年4月時点）
3. J-SHINEの資格認定の申請を行い、「小学校英語準認定指導者資格」取得。
4. 本学サービスラーニング活動等への参加により、幼児および小学生を対象とした50時間の指導経験がある場合、「小学校英語指導者資格」の取得申請が可能。

なお、次ページ以降の10. 開講科目表の「サービスラーニング関連度」項目欄には、これらコース内のサービスラーニング関連科目と、コース外でもサービスラーニングに関連する内容を授業の一部に取り入れている科目には、その度合いによってA（非常に関連）、B（ある程度関連）、C（少々関連）を表示していますので、履修の参考にしてください。

9. インデペンデント・スタディ

既設の科目で扱われている内容をより深く理解するため、あるいは学生自身が興味を持っているテーマを選び自ら学ぶため、学生が主体的に指導教員のもとで研究し、研究報告書として成果をまとめ、評価を受けることにより、専門科目として2単位を付与する制度です。

登録を希望する学生は自分の研究テーマに相応しい指導教員（専任教員に限る）を選び、登録前に承諾を受けます。登録は在学中に1回限りとします。研究テーマについては、登録する学期の前の学期中に教員と相談することが望まれます。なお、各学期につき一人の教員が指導する学生は原則2名以内です。

＜登録までの手続＞

- ① 登録を希望する学期までに研究テーマを決め、指導教員を決定します。
- ② 「研究計画書」を作成し、指導教員へ提出します。指導教員は教務委員長、学科長とともにその計画書を審査します。
*研究テーマは指導教員と相談の上決定します。
- ③ 指導教員と教務委員長及び学科長の許可を受けた上で、春学期あるいは秋学期の履修登録期間に登録を行います。

<履修～評価>

- ① 学生は登録した学期の期間中、定期的に担当教員に対し進捗状況を報告し、指導をうけてください。
- ② 学生は登録した学期末までに「研究報告書」を担当教員に提出してください。最終的な研究報告書は十分な研究調査に基づいた論文の体裁をとっている必要があります。各学期末（春学期登録者は7月、秋学期登録者は1月）に開催される「公開研究発表会」で研究成果を教員・学生の前で発表した上で、評価されます。
- ③ 履修を中止する場合は、登録した学期の履修中止期間内に行ってください。

10. 開講科目表

英語科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2 ○=週1 ●=週1,2限連続		関連度 ※サイバースラッシング	履修年次	担当者	備考
	必修	選必	選択	春学期	秋学期				
英語必修科目						VI. 講義内容 (シラバス) → P. 75~P. 201			
英語 I	2			◎		C	1年次	M. Andrade、平野、近藤、飯田、永野、神谷、T. Gould、狩野、岩崎、V. Thomas	クラス指定
英語 II	2				◎	C	1年次	平野、近藤、飯田、永野、神谷、T. Gould、C. Oliver、狩野、V. Thomas、秋庭	クラス指定
英語 III	2			◎		C	2年次	岩崎、R. Burton、J. Dizon、G. Freddes、J. Hirai、國分、M. Nepomuceno、S. Tandon、K. Williams	クラス指定
英語 IV	2				◎	C	2年次	R. Burton、J. Dizon、G. Freddes、J. Hirai、國分、M. Nepomuceno、高橋、S. Tandon、K. Williams	クラス指定
TOEIC対策講座 I	1			○			1年次	M. Andrade、永野、T. Gould、深澤	クラス指定
TOEIC対策講座 II	1				○		1年次	M. Andrade、永野、T. Gould、深澤	クラス指定

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2 ○=週1 ●=週1,2限連続		サ ー ビ ス ラ イ ニ ン グ ※ 関 連 度	※A 非常に、B ある程度、C 少々			
	必修	選 必	選 択	春 学 期	秋 学 期		履修 年次	担当者	備考	
英語スキルズ科目						VI. 講義内容(シラバス) → P. 202~P. 251				
基礎英語スキルズ (生活の英語)		2			◎		1・2 年次	服部	[人]35名	
基礎英語スキルズ (ライティング)		2		◎			1・2 年次	石原	[人]35名	
基礎英語スキルズ (リーディング)		2		◎	◎		1・2 年次	(春)秋庭 (秋)石原	[人]各60名	
基礎英語スキルズ (文法・語彙)		2		◎			1・2 年次	石原	[人]60名	
標準英語スキルズ (生活の英語)		2			◎		1・2 年次	S. Tandon	[人]35名	
標準英語スキルズ (旅行の英語)		2			◎		1・2 年次	K. Williams	[人]35名	
標準英語スキルズ (職場の英語)		2		◎	◎		1・2 年次	(春)K. Williams (秋)J. Hirai	[人]各35名	
標準英語スキルズ (メディアの英語)		2		◎			1・2 年次	J. Hirai	[人]60名	
標準英語スキルズ (文法・語彙)		2		◎	◎		1・2 年次	服部	[人]各60名	
標準英語スキルズ (ライティング)		2		◎	◎		1・2 年次	(春)S. Tandon (秋)J. Dizon	[人]各35名	
標準英語スキルズ (リーディング)		2		◎	◎		1・2 年次	(春)國分 (秋)石原	[人]各60名	
標準英語スキルズ (パブリックスピーキング)		2		◎			1・2 年次	J. Dizon	[人]35名	
標準英語スキルズ (ディスカッション)		2		◎			1・2 年次	M. Nepomuceno	[人]35名	
標準英語スキルズ (アカデミックリスニング)		2		◎			1・2 年次	服部	[人]60名	
標準英語スキルズ (TOEIC実践演習講座)		2		●			2年 次	柳田	[人]35名	
上級英語スキルズ (ライティング)		2			◎		1・2 年次	M. Nepomuceno	[人]35名	
上級英語スキルズ (ディベート)		2			◎		1・2 年次	R. Burton	[人]35名	
上級英語スキルズ (学術論文作法)		2		◎			1・2 年次	G. Freddes	[人]35名	
上級英語スキルズ (多読速読)		2		◎			1・2 年次	高橋	[人]60名	
上級英語スキルズ (編入対策)		2		◎			1・2 年次	平野	[人]60名	
上級英語スキルズ (TOEIC実践演習講座)		2		●			2年 次	R. Burton	[人]35名	

教養科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2 ○=週1 ●=週1,2限連続		関連度 ※サービ スライ ニング	※A 非常に、B ある程度、C 少々		
	必修	選 必	選 択	春 学期	秋 学期		履修 年次	担当者	備考
必修科目 VI. 講義内容 (シラバス) → P. 252~P. 267									
人間学 I	2			○		A	1年次	丹木、小林、岩崎、阿部、桑原、W. Nampet、田村	クラス指定
選択科目 VI. 講義内容 (シラバス) → P. 268~P. 313									
人間学 II			2		○	A	1・2年次	小林、W. Nampet、田村	12年次生以前は必修 6. 履修上の注意参照
歴史学			4	◎			1・2年次	森下	
哲学			4	◎	◎		1・2年次	丹木	
女性と哲学			4		◎	B	1・2年次	田内	
宗教学			4	◎	◎	B	1・2年次	小林	
音楽			4		◎		1・2年次	北村	
女性学			4					2013年度休講	
社会学			4	◎			1・2年次	柄内	
日本国憲法			4	◎		A	1・2年次	萩原	
法学			4					2013年度休講	
教育学			4	◎	◎	B	1・2年次	(春)神門 (秋)杉村	
政治学			4					2013年度休講	
経済学			4	◎			1・2年次	白瀬	
経営学			4		◎		1・2年次	白瀬	
社会福祉入門			4		◎		1・2年次	森澤	
マスメディア論			4	◎	◎		1・2年次	(春)国枝 (秋)石川	
基礎コンピューター演習			2	○			1・2年次	加藤	[人]36名
自然科学入門			4					2013年度休講	
数学			4		◎		1・2年次	加藤	
心理学			4	◎		B	1・2年次	林	
体育理論・実技 1			2	○	○		1・2年次	木皿	[人]各36名
体育理論・実技 2			2	○	○		1・2年次	小澤	[人]各36名
体育理論・実技 3			2	○	○		1・2年次	小澤	[人]各36名

基礎科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2 ○=週1 ●=週1, 2限連続		サ ー ビ ス ラ ン ニ ン グ ※ 関 連 度	※A 非常に、B ある程度、C 少々			
	必修	選択	選択	春 学期	秋 学期		履修 年次	担当者	備考	
異文化理解コース関連科目（基礎科目）						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい VI. 講義内容（シラバス）→ P. 314～P. 315				
キリスト教文化入門			4		◎	B	1・2 年次	輪講(コーディネーター：丹木)		
異文化間コミュニケーション			4					2013年度休講	*言語研究コースにも算入可	
英米文学研究コース関連科目（基礎科目）						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい VI. 講義内容（シラバス）→ P. 316～P. 319				
英文学概論			4	◎	◎		1・2 年次	(春)飯田 (秋)平野		
言語研究コース関連科目（基礎科目）						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい VI. 講義内容（シラバス）→ P. 320～P. 323				
言語学概論			4	◎	◎	C	1・2 年次	(春)神谷 (秋)近藤		
言語教育コース関連科目（基礎科目）						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい VI. 講義内容（シラバス）→ P. 324～P. 327				
児童英語教育概説			4	◎		A	1・2 年次	狩野		
日本語教育概論			4		◎	A	1・2 年次	宮崎		
						VI. 講義内容（シラバス）→ P. 328～P. 353				
ドイツ語 I			2	◎	◎		1・2 年次	工藤	[人]各35名	
ドイツ語 II			2	◎			1・2 年次	工藤	[人]35名、ドイツ語 I 既習者か、それに相当する者	
フランス語 I			2	◎	◎	C	1・2 年次	谷口	[人]各35名	
フランス語 II			2	◎		C	1・2 年次	谷口	[人]35名、フランス語 I 既習者か、それに相当する者	
スペイン語 I			2	◎	◎		1・2 年次	A. Yáñez	[人]各35名	
スペイン語 II			2	◎			1・2 年次	A. Yáñez	[人]35名、スペイン語 I 既習者か、それに相当する者	
中国語 I			2	◎	◎		1・2 年次	廣重	[人]各35名	
中国語 II			2	◎			1・2 年次	廣重	[人]35名、中国語 I 既習者か、それに相当する者	
日本語表現法			4	◎	◎	C	1・2 年次	(春)樋口 (秋)河北	[人]各35名	
キャリア・プランニング			4		◎		1・2 年次	輪講(コーディネーター：小林)	同窓会寄附講座	
留学準備（カナダ）			2	◎			1・2 年次	神谷	夏の短期語学講座（Univ. of Victoria）申込者のみ	
留学準備（イギリス）			2	◎			1・2 年次	飯田	夏の短期語学講座（Univ. of Gloucestershire）申込者のみ	

専門科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2 ○=週1 ●=週1, 2限連続		サ ー ビ ス ラ イ ン グ 関 連 度 ※	※A 非常に、B ある程度、C 少々		
	必修	選択	選択	春 学期	秋 学期		履修 年次	担当者	備考
必修科目 VI. 講義内容(シラバス) → P. 354~P. 441									
基礎ゼミナール	2			○			1年次	丹木、森下、 宮崎、杉村、 小林、岩崎	
プレ・ゼミナール	2				○	近藤 B 狩野 A	1年次	M. Andrade、 平野、丹木、 近藤、飯田、 森下、永野、 神谷、 T. Gould、 宮崎、 C. Oliver、 杉村、狩野、 小林、 V. Thomas	原則として2年次 にゼミⅠ・Ⅱ 担当教員と同一 教員担当科目を 履修。但し、教 員のサバティカ ルにより同一教 員が履修できな い場合がある。 詳細は6月のゼ ミナール説明会 で説明。
ゼミナールⅠ	2			○		近藤 B 狩野 A	2年次	M. Andrade、 平野、丹木、 飯田、森下、 永野、神谷、 T. Gould、 宮崎、杉村、 狩野、小林、 V. Thomas、 萩原	原則として、ゼ ミⅠとゼミⅡは 同一教員担当科 目を履修。
ゼミナールⅡ	2				○				
異文化理解コース関連科目 VI. 講義内容(シラバス) → P. 442~P. 465									
東洋研究			4	◎			1・2 年次	田畑	
西洋研究			4					2013年度休講	【隔年開講】
日本文化			4	◎			1・2 年次	森下	
英米史			4	◎			1・2 年次	森下	【隔年開講】
比較社会史			4	◎			1・2 年次	森下	
国際関係論			4	◎		A	1・2 年次	萩原	
文化人類学			4	◎		C	1・2 年次	C. Oliver	
現代美術			4	◎			1・2 年次	G. Fredde	
比較・国際教育学			4	◎		B	1・2 年次	杉村	*言語教育・児 童英語教育コース にも算入可
社会正義のグローバルリ テラシー			4					2013年度休講	
言語とリテラシー教育			4	◎		B	1・2 年次	M. Andrade	*言語研究コース にも算入可 【隔年開講】 注1
個人と人権			4					2013年度休講	【隔年開講】
比較政治制度論			4	◎			1・2 年次	萩原	【隔年開講】
倫理学			4	◎			1・2 年次	丹木	
平和と開発			4	◎			1・2 年次	V. Thomas	

注1 専門科目4単位として算入する方法と英語選択必修科目4単位として算入する方法があります P.49参照

専門科目（続き）

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎＝週2 ○＝週1 ●＝週1, 2限連続		サ ー ビ ス ラ イ ン グ 関 連 度 ※	※A 非常に、B ある程度、C 少々			
	必 修	選 必	選 択	春 学 期	秋 学 期		履 修 年 次	担 当 者	備 考	
英米文学研究コース関連科目						VI. 講義内容（シラバス）→ P. 466～P. 473				
英語英米文学入門			4					2013年度休講		
アメリカ短編小説研究			4					2013年度休講		
英詩研究			4		◎		1・2 年次	飯田	【隔年開講】	
演劇研究			4					2013年度休講	【隔年開講】	
小説研究			4					2013年度休講	【隔年開講】	
アメリカ文学史			4		◎		1・2 年次	永野	【隔年開講】	
映画と文学			4		◎		1・2 年次	山本		
翻訳演習			4	◎			1・2 年次	永野		
（英語史）			4	◎			1・2 年次	平野		
言語研究コース関連科目						VI. 講義内容（シラバス）→ P. 474～P. 483				
社会言語学			4		◎	C	1・2 年次	神谷		
音声学			4	◎			1・2 年次	高橋	*言語教育・児童英語教育コースにも算入可	
日本語学			4	◎		B	1・2 年次	宮崎	*言語教育コースにも算入可	
語用論			4	◎		C	1・2 年次	近藤	【隔年開講】	
英語史			4	◎			1・2 年次	平野	*英米文学研究コースにも算入可	
通訳演習			4					2013年度休講	【隔年開講】	
（異文化間コミュニケーション）			4					2013年度休講		
（言語とリテラシー教育）			4		◎	B	1・2 年次	M. Andrade	【隔年開講】	
（バイリンガル教育）			4		◎	A	1・2 年次	宮崎		
（第二言語習得）			4		◎	B	1・2 年次	T. Gould		
言語教育コース関連科目						VI. 講義内容（シラバス）→ P. 484～P. 499				
バイリンガル教育			4		◎	A	1・2 年次	宮崎	*言語研究コースにも算入可	
初等教育			4	◎		A	1・2 年次	杉村		
児童心理学			4		◎	B	1・2 年次	林		
第二言語習得			4		◎	B	1・2 年次	T. Gould	*言語研究コースにも算入可	
児童英語教育演習A			4	◎		A	2年 次	狩野	*児童英語教育概論（2011年度まで開講）、児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位習得済が履修の条件	

専門科目（続き）

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎＝週2 ○＝週1 ●＝週1, 2限連続		サ ー ビ ス ラ イ ン グ 関 連 度 ※	※A 非常に、B ある程度、C 少々		
	必修	選 必	選 択	春 学 期	秋 学 期		履 修 年 次	担 当 者	備 考
児童英語教育演習B			4		◎	A	1・2 年次	狩野	*児童英語教育概論（2011年度まで開講）、児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位習得済が履修の条件
児童英語指導者養成講座			4		◎	A	1・2 年次	杉村	
日本語教育演習			4	◎		A	2年 次	宮崎	日本語教育概論の単位修得済が履修の条件。
（比較・国際教育学）			4	◎		B	1・2 年次	杉村	
（音声学）			4	◎			1・2 年次	高橋	
（日本語学）			4	◎		B	1・2 年次	宮崎	
その他									
インデペンデント・スタディ			2				1・2 年次	担当教員	詳細はP.64参照
海外短期語学講座			2				1・2 年次	短期留学制度	詳細はP.48参照